

## 石垣島の発展と人々の暮らし

大内望

近年、石垣島では新空港の開港、格安航空の参入により観光産業の発展が著しくみられます。観光産業の発展は単に、その地域の知名度をあげたり、経済効果をもたらしたりするだけでなく、あらゆる面においてその地域に影響を与えることとなります。我々はアーケード商店街（ユーグレナモール）の変化を調査するなかから、石垣島での暮らしやその変化にアプローチを試みました。

もともと市場を中心として、地元の人々の生活に寄り添っていた石垣島のアーケード商店街は、景気悪化に伴い衰退してしまいました。しかし、観光業の発展に伴って土産店等が参入。地元客中心から観光客中心へと変化させることで、利用客を増やしました。そのため、商店街と地元との関わり方や、商店街の店同士の関わり方にも変化が見られます。

石垣を訪れる観光客も変化しています。以前は、石垣島の生活に寄り添い、ゆったりとした時間を過ごすことを目的とした個人観光客が多くみられました。しかし現在は、マリンスポーツを目的とした若い客層が増え、グループ観光も目立っています。客層の変化に伴い、島での過ごし方や楽しみ方も違ってきます。レンタカーの利用も増えて、島の交通量も多くなりました。石垣島の特産品を目当てとする観光客に、島の食材を生かした飲食店も繁盛しています。交流人口が増えたことで、石垣島の暮らしも人びとの意識も多側面で変化しつつあります。

観光産業の発展は、石垣島の知名度をあげ、経済効果をもたらし、石垣島の新たな魅力を引出すことを可能にしています。しかし同時に、石垣島で実際に生活をする地元の人々の暮らしをみても決してプラスの影響だけではなく、マイナスの影響もあることがわかります。離島での穏やかな時間の流れ、人々の温かい絆というような、石垣島で大切にされてきた価値観を保ちながら、観光産業はどのように育っていくのか。引き続き、アーケード商店街から観光産業の発展と人々の暮らしの変化を見つめていきたいと思えます。